

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

令和5年11月24日

首都圏中央自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する 要望活動の実施について



令和5年11月21日（火）、成田空港活用協議会（会長 佐久間英利）では、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）及び北千葉道路の早期整備等について、千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟及び首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議と合同で、下記のとおり要望活動を実施しましたので、お知らせします。

記

1 実施日

令和5年11月21日（火）

2 要望の内容（要望書は別紙のとおり）

○ 圏央道について

- ・ 大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和8年度の開通見込みを確実に達成すること。併せて、大栄 JCT から国道296号インターチェンジ（仮称）間については、1年程度前倒しでの開通を確実に達成すること。
- ・ 空港や空港周辺地域と圏央道を接続する新たなインターチェンジについて、具体化が図られるよう必要な助言を行うこと。また、（仮称）かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
- ・ 神崎パーキングエリア（仮称）の内回りは令和7年度、外回りは令和7年度から8年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア（仮称）については、早期供用を図ること。
- ・ 県境から大栄ジャンクション間の4車線化については、確実に事業を進めること。また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に4車線化を図ること。特に事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く4車線化工事に着手すること。
- ・ 圏央道に接続する銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が、確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。

○ 北千葉道路について

- ・ 印西市から成田市間については、早期整備に向け十分な予算を確保するとともに、直轄施行区間については、引き続き4車線での整備を図ること。
- ・ 事業中の北千葉道路（市川・松戸）については、有料事業を早期に導入し、整備を加速させること。
- ・ 市川市から船橋市間の未事業化区間については、国による早期事業化を図るとともに、早期整備を図るため、専用部については、直轄事業と有料事業の合併施行とすること。
- ・ 国道464号の全線の直轄編入を図ること。

○ 東京湾アクアラインについて

- ・ 「アクアライン割引」の継続に必要な予算を確保すること。

○ 予算・財源について

- ・ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- ・ 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

3 要望先

- ・ 財務省
- ・ 国土交通省
- ・ 県選出国會議員 等

4 面談者

財務省 瀬戸 隆一 財務大臣政務官
国土交通省 吉岡 幹夫 技監
丹羽 克彦 道路局長

《お問い合わせ先》 成田空港活用協議会事務局 松澤、細川
千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階301
TEL:043-306-2411 E-mail:info@nrt-promo.jp URL: <https://www.nrt-promo.jp/>

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望書

「成田空港活用協議会」は、成田空港の高まるポテンシャルや圏央道等高速道路網の進展などを最大限に活用して千葉県経済の活性化を図るために設立され、現在、県経済界、企業・団体、千葉県、県内市町村など官民約150の会員が力を結集して、「オール千葉」の体制で様々な取組を進めています。

本県経済発展の核である成田空港では、年間発着容量50万回に向け、第3滑走路の整備などを含む「成田空港の更なる機能強化」を進めており、令和10年度末までの滑走路供用開始を目指しています。

成田空港周辺では、地域未来投資促進法の弾力的な活用が全国で初めて認められ、世界的な物流デベロッパーから、空港内外一体の国際航空物流拠点を開発する意向が示されるなど、地域の可能性が飛躍的に高まっています。

また、県においても、成田空港の更なる機能強化等を最大限生かした地域の活性化に向け、成田空港の特長や強みを最大限活かせる国際的な産業拠点の形成に向けた検討を進めているところです。

これらの成田空港や周辺地域から生じる経済的な効果の本県はもとより首都圏に広く波及させるとともに、ポストコロナの経済回復・成長に向けたインバウンドの促進や航空貨物の東アジアの拠点化などを目指すため、必要な道路網を整備し、成田空港から各地へのアクセスをより一層向上させることが重要であり急務です。

特に、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は東京湾アクアラインなどと一体となって、成田空港と首都圏の各都市を環状につなぎ、成田空港と各都市との交流・連携を促進するのみならず、成田空港の国際競争力の強化を図る上で極めて重要な道路であり、その効果を最大限発揮させるためには、大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間の日も早い開通が不可欠です。

また、北千葉道路は、成田空港と東京外かく環状道路を最短ルートで結び、成田空港から都心や首都圏北部への所要時間短縮が図られることから、成田空港の国際競争力の強化を図る上で、圏央道と同様、大変重要な道路であると考えます。

さらに、圏央道及び北千葉道路による成田空港への複数のアクセスの整備は、災害時等における空港機能の維持・確保という危機管理上の観点からも望まれるものであると考えます。

つきましては、次の事項の実現について、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

記

1 圏央道について

- ・ 大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和8年度の開通見込みを確実に達成すること。併せて、大栄 JCT から国道 296 号インターチェンジ（仮称）間については、1 年程度前倒しでの開通を確実に達成すること。
- ・ 空港や空港周辺地域と圏央道を接続する新たなインターチェンジについて、具体化が図られるよう必要な助言を行うこと。また、（仮称）かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
- ・ 神崎パーキングエリア（仮称）の内回りは令和7年度、外回りは令和7年度から8年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア（仮称）については、早期供用を図ること。
- ・ 県境から大栄ジャンクション間の4車線化については、確実に事業を進めること。また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に4車線化を図ること。特に事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く4車線化工事に着手すること。
- ・ 圏央道に接続する銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が、確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。

1 北千葉道路について

- ・ 印西市から成田市間については、早期整備に向け十分な予算を確保するとともに、直轄施行区間については、引き続き4車線での整備を図ること。
- ・ 事業中の北千葉道路（市川・松戸）については、有料事業を早期に導入し、整備を加速させること。
- ・ 市川市から船橋市間の未事業化区間については、国による早期事業化を図るとともに、早期整備を図るため、専用部については、直轄事業と有料事業の合併施行とすること。
- ・ 国道464号の全線の直轄編入を図ること。

1 東京湾アクアラインについて

- ・ 「アクアライン割引」の継続に必要な予算を確保すること。

1 予算・財源について

- ・ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- ・ 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。